
建設部会

平成29年 活動報告

公益社団法人 日本技術士会
建設部会長 長崎 均

建設部会の運営方針

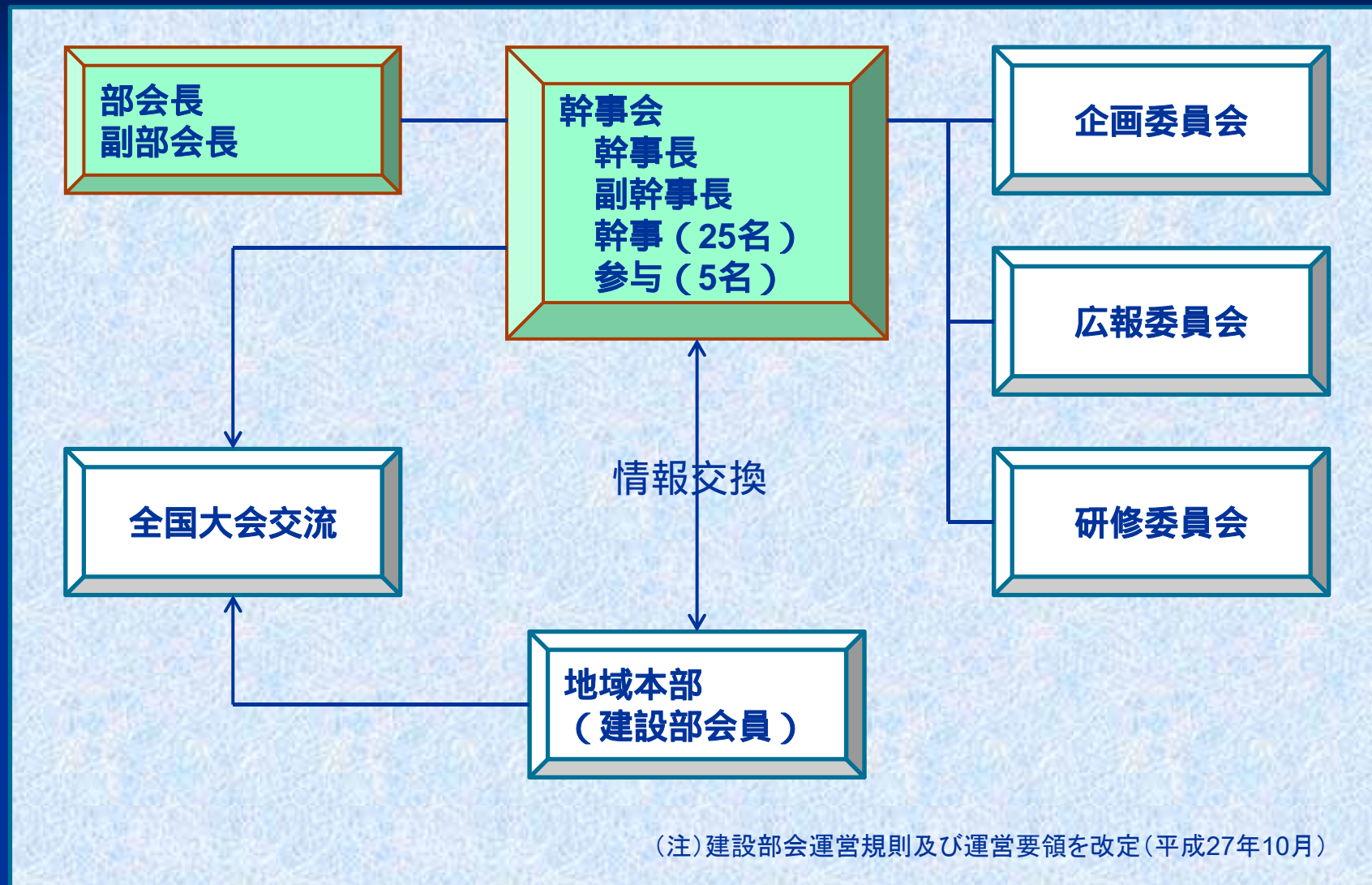
	現状と課題認識	課題解決を踏まえた運営方針
技術士制度	<p>①技術士資格が名称独占にとどまっている。</p> <p>②当会では「技術士制度検討委員会」が、国では「議員連盟」が設立されたことで、技術士制度の改正機運が高まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新制度 ・技術士補のあり方とIPD支援方策 ・技術士資格の国際的通用性 ・他の国家資格との相互活用 	<p>①建設分野において技術士が業務独占的に活用されるよう所管官庁に働きかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省との意見交換 ・地域本部・県支部との連携による自治体への働きかけ <p>②制度改革に積極的に協力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新制度の検討においては更新条件を設定する。 ・インフラ海外輸出を念頭に技術士の国際通用性に対して意見を出す。
日本技術士会 建設部会の運営に関する こと	<p>①会員サービスの充実を期待している声が多い。</p> <p>②統括本部の部会と地域部会との連携が悪く、会員拡大や効率的な事業運営ができていない。</p> <p>③建設部会では、産官学が参加、民間では建設コンサルタント、ゼネコン、メーカーが参画しているが、その強みを発揮できていない。</p>	<p>①会員サービスの充実に向け、CPD講演会の開催頻度の増加、会員自身の発表会の企画。</p> <p>②地域との連携強化策。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統括本部と地域本部・県支部との意見交換会を年2回開催。 ・関東甲信地域県支部との意見交換会を適宜実施。 ・CPD講演会の動画のWEBアップ。 <p>③産官学・建設コンサルタント・ゼネコン・メーカーなど、様々な主体による技術交流会の実施。</p>

建設部会 部会長 長崎 均

建設部会の平成29年活動報告

1. 幹事会の組織構成
2. 幹事会の体制
3. 建設部会の活動内容
4. 講演会・見学会(テーマ・講師)
5. 建設部門の全国連携活動
6. 技術士の活用促進活動

1. 幹事会の組織構成



2. 幹事会の体制

	氏名	備考
理事	高木 茂知	日本技術士会 会長
理事	中川 裕康	日本技術士会 副会長 制度検討委員会 委員長
理事	廣澤 遵	広報委員会 副委員長
監事	宮下 紀代則	
部会長	長崎 均	制度検討委員会
副部会長	徳川 和彦	企画委員会、制度検討委員会
幹事長	増野 正男	
副幹事長	柴野 正一	広報委員会
副幹事長	新屋 浩明	総務委員会
幹事	25名	
参与	5名	

3. 建設部会の活動内容

3.1 幹事会

メンバー構成: コンサル60%、ゼネコン20%、
官公庁10%、個人10%

理事会・部会長会議・本部委員会・部会委員会等の報告
及び審議と意見交換、原則1回/月開催

3.2 本部委員会における活動

常設7委員会(倫理、総務、企画、研修、広報、社会、国際)、7実行委員会(CPD支援、修習技術者支援、青年技術士交流会、防災支援、科学技術振興支援、日韓技術士交流、海外活動支援)などに参加し活動

3.3 建設部会における委員会活動

■ **企画委員会**：理事会、部会長会議等における審議事項並びに建設部会の企画に関する事項

■ **広報委員会**：建設部会HPへの掲載・管理、月刊技術士、同報メール等広報に係る事項

■ **研修委員会**：技術士CPDとして、1回/月程度の講演会または現場研修会を開催

【平成29年の実績および計画】

- 講演会：8回
- 現場研修会：3回

4.講演会・見学会(テーマ・講師)

月	会	テーマ	内容	講師(敬称略)		参加 (人)
平成29年						
1	講演	景観	海岸防護にかかる景観設計の可能性～別府港海岸における試み～	齋藤 潮	東京工業大学 環境・社会理工学院教授	24
2	講演	地下構造	最新の技術をまとった地下鉄東西線建設～技術課題とその対策～	森 研一郎	仙台市 交通局次長	38
4	講演	情報	最近の気象情報サービスとは	安部 大介	(株)ウェザーニューズ 取締役運営最高責任者	57
5	現場研修	交通 (鉄道)	建設技術総合センター施設見学	—	鉄建建設(株) 建設技術総合センター 研修センター	17
6	講演	維持管理	構造物の戦略的なメンテナンス	高木 千太郎	(一財)首都高速道路技術センター 上席研究員	56

月	会	テーマ	内容	講師(敬称略)		参加
7	現場研修	科学	水素情報館東京スイソミル見学	与安 光晴	日立オートモティブシステムズメ ジャメント(株) 経営企画部 部長	22
8	現場研修	治水	ハッ場ダム建設工事現場見学(本体打設工事、施工設備等)	—	関東地方整備局 ハッ場ダム工事事務所	36
9	講演	維持管理	PCコンクリートの維持管理	岡田 繁之	極東興和(株) 営業本部 補修部 部長	36
10	講演	交通	交通ビックデータ等の新技術を活用した都市のコンパクト化に向けた取り組みの考え方	新階 寛恭	国土交通省 国土技術 政策総合研究所 都市 施設研究室 室長	63
11	講演	維持管理	CIMのガイドラインについて	影山 輝彰	(一社)日本建設情報総 合センター 研究開発部 主任研究員	42
12	講演	一般	第2世代のアセットマネジメント:ISO055001は何をもたらすか?	小林 潔司	次期土木学会長 京都大学経営管理大学 院 教授	(60)

講演会・現場研修会の事例



講演会（最新の気象情報サービスとは）（4月）



講演会（PC橋の点検診断技術の最前線）（10月）



水素情報館東京スイソミル館（7月）



ハツ場ダム建設工事現場（8月）

5.建設部門の全国連携活動

5.1 全国関係者意見交換会

関東甲信地域県支部代表者との意見交換会を開催（9/27）

- 出席県支部：長野県支部、群馬県支部、栃木県支部、埼玉県支部、茨城県支部、千葉県支部、神奈川県支部
 - CPD活動での連携、継続的開催を確認
- 地域8建設部会と意見交換会を開催（10/20：全国大会）
- 活動内容等の情報を共有
 - 今後も継続的開催を確認

5.2 部会報告活動

全国大会（山口）において「H29建設部会活動報告」を配布

第44回技術士全国大会(山口) 建設部会交流会

平成29年10月20日

議事次第

開会挨拶

建設部会

長崎部会長

- ・ 技術士を取り巻く状況について
- ・ 建設部会運営方針
- ・ 建設部会活動報告(平成28年度)
- ・ 地域本部活動報告(各4分×8本部)
- ・ 部会と地域との連携について
- ・ 技術士制度検討委員会の状況報告

徳川副部会長

長崎部会長

増野幹事長

各地域代表

徳川副部会長

中川副会長

閉会挨拶

中国本部

森山部会長



第44回 技術士全国大会(山口)
建設部会交流会

平成29年10月20日
於 山口県政資料館

6.技術士の活用促進活動

6.1 国土交通省との意見交換会の実施

- 建設部門の最大の顧客である国土交通省との情報共有と技術士資格の活用促進を目的として、平成25年より意見交換会を開催。
- 第4回意見交換会をH29.1に開催
- 「建設部会活動状況」「文科省技術士分科会の動向」「技術士資格の活用」について協議。

6.2 部会長会議などで本部への要望

- 国交省における登録民間資格の活用等の動向を踏まえ、技術士資格の活用や更新制度についての検討を要望。
- 他部門とも連携した活動に繋がっていきたい。

建設部会の活動に
是非ご参加ください